

11月、いよいよ今月29日に太陽に再接近するアイソン彗星が見頃になって来ます。11月20日前後から、明け方の南東の空低い所に双眼鏡を向けると姿を見せ始めてきます。まだその頃は4等星前後で見つけ難いかも知れませんが、土星を目安に探索して見てください。25日を過ぎると急激に光度が明るくなる可能性があり肉眼でも長い尾を見せてくれるかもしれません。

ただ、明け方の高度が極端に低くなり天文薄明と重なり見難くなってきます。(くれぐれも双眼鏡、天体望遠鏡等で太陽を直視しない様にしてください)



12月に入ると、また明け方に南東の空低空に見え始めます。一日々々地平から見かけの高さが高くなり、また彗星の尾も長く伸びてきて見事な大彗星になるのではないのでしょうか。

記念に彗星の写真でも撮ってみたらどうでしょうか？

お手持ちのカメラがバルブ機能付きか、10秒程度の長時間露光の出来る物でしたら簡単に撮影が出来ます。(三脚にカメラを固定し5秒~30秒位で地上の景色と一緒に撮ると記念になる一枚がきっと撮れますよ)

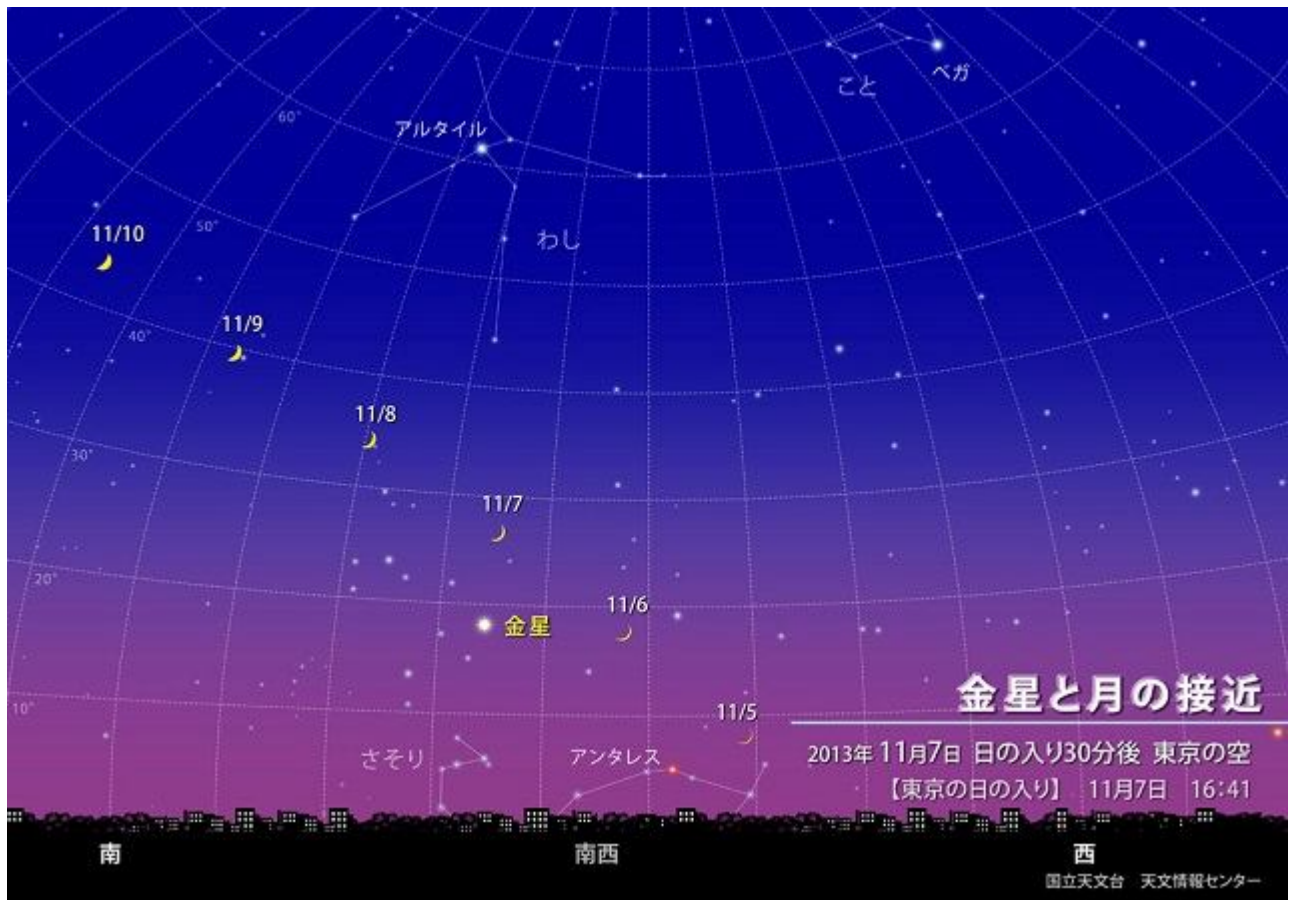
12月下旬になると夕方にもすばらしい姿が見えて来ますのでお見逃し無く。27日には地球に最も接近しますが、明るさは徐々に落ちていき1月に入ると肉眼では見えなくなる

明るさまで落ちて行くことでしょう。



星空に移ると

1 1月初旬から半ばに掛けては、夕空に月と金星が見事な景色を見せてくれます。



夏の星座が西空に傾き天空には秋の星座、冬の星座が顔を出してきています。

秋の星空は明るい星が少ない為か、何となく物悲しい雰囲気のある夜空になっていますね。比較的暗い夜空がある所では、アンドロメダ座にあるアンドロメダの大星雲（メシエ31）を観望する事をお勧めします。太陽系の属する銀河系と同じ規模の大きさを持つすぐ隣にある銀河系、目視でも確認できますが双眼鏡を使うと薄い雲のような星雲が簡単に見つかります。

最近銀河系に100億位の地球型惑星があるとのニュースが有りましたが、このアンドロメダ星雲にも同数の恒星と惑星があるとすると、宇宙にはどれだけの生命が溢れているのか想像するだけでも楽しいです。

